日本小児突然死予防医学会雑誌　投稿規定

［2024 年 9 月改訂］

1. 学会雑誌

本誌は各年の日本小児突然死予防医学会（以下、本学会とする）学術集会にて招聘された講演、および投稿され査読を受けたものを原著、総説、症例報告、letters to the editor などとして掲載する。

2. 投稿者の資格

依頼原稿を除き、first author は本学会会員とする。

3. 著作権

掲載された論文の著作権は本学会に帰属する。

4. 投稿規定

（1）他誌に発表または投稿中のものは受け付けない。投稿に際しては、first author が署名した誓約書（本学会規定の書式）を提出する。

（2）原稿は E-mail での投稿を受け付ける。添付ファイル（1 通あたり）の合計容量は 10MB 以内とする。事務局から投稿受付メールが届かない場合は受信トラブルが考えられるため、必ず問い合わせのこと。

［原稿の送付先］日本小児突然死予防医学会事務局　　E-mail　sids@medica.co.jp

5. 掲載料

規定原稿分量を大幅に超過する場合は著者の実費負担とすることもある。また、別刷の費用は著者の負担とする。

6. 原稿作成規準

（1）原稿は和文または英文のいずれでもよい。英文（和文原稿の英文 abstract、Legend なども含む）は native speaker のチェックを受けたものであることが望ましい。

（2）和文原稿は文書作成ソフトを用いて A4 判、フォントサイズ 10.5 ポイント、40 字×30 行設定とする。分量は、招聘による講演原稿および原著・総説が 12,000 字（図表および文献を含む）以内（刷り上がり 8 頁）、症例報告が 8,000 字以内（刷り上がり 4 ～ 5 頁）とする。専門用語以外は常用漢字、現代かなづかいに従い、ひらがな書きとする。

（3）英文原稿は、原著および症例報告、招聘による講演原稿いずれも A4 判、フォントサイズ 10.5 ポイント、30 行設定とし、8,000words 以内とする。

（4）原稿の第 1 頁には、表題、著者名、所属機関名、所属科名を和英両文で記載する。

著者の所属機関が異なる場合は、著者名と所属機関に 1）2）などの番号を付して区別する。

研究の対象、方法、理論などの研究の概略がわかるような英文のキーワード（5 個以内）を記入する。英文原稿には 80 字以内のランニングタイトルをつける。

連絡者氏名、住所、E-mail アドレス、電話番号を記入する。

7. 論著の構成

（1）原著論文は、原則として次のような構成とする。

抄録（abstract）、緒言（introduction）、材料および方法（materials and methods）、結果（results）、考察（discussion）、文献（references）。和文原稿の場合、400words 以内の英文 abstract を添付する。

（2）挿入する図・表・写真は本文中に貼り込まず、別ファイルとする。本文中の図表番号はマーカー機能などを用いて目立つように表記する。図・表・写真のタイトルならびに説明は、別途一括して記載する。説明（legend）

Presented by Medical*Online

は、和文原稿では和英いずれでもよい。

(3) 雑誌の略名は、外国誌は “Index Medicus”、邦文誌は『医学中央雑誌』に準拠し、商業誌は混乱を避けるために原則として略さないこととする。

(4) 引用文献は出現順に通し番号をつけ、本文中の該当部分の右肩に 1) 2) 3) ……の番号を付し、本文末尾に以下のような表記で一括掲載する。

著者名は、3 名まではそのまますべてを掲げ、4 名以上の場合は 3 名までを記載し、以下は “ほか” および “et al” とする。記載項目ならびに順序と凡例を以下に示す。

［雑誌の場合］ 著者名：論文名．誌名．発行年；巻数：通巻開始頁 - 終了頁．

市川光太郎：家庭における乳児期睡眠環境の実態調査と母親の意識調査．日小児救急医会誌．2014；13：356-365.

Mitchell EA, Freemantle J, Young J, et al：Scientific consensus forum to review, the evidence underpinning the recommendations of the Australian SIDS and Kids Safe Sleeping Health Promotion Program ― October2010. Paediatr Child Health. 2012；48：626-633.

［単行本の場合］著者名：論文名．シリーズ名，書名（編集者名）．発行年；開始頁 - 終了頁，出版社，発行地．

市川徹郎：基準値，正常値，カットオフ値，異常値．ワンランク上の検査値の読み方・考え方（本田孝行編）．2012；7-11，総合医学社，東京．

Williams PL：Gray’s Anatomy. 38th Ed. 1995；1808-1809, Churchill Livingstone, London.

8. 倫　理

ヒトを対象とした研究の場合は世界医師会によるヘルシンキ宣言に従った内容とし、必要に応じて施設内あるいは地域の倫理委員会の承認を得てその旨を論文中に明記する。患者のプライバシーに触れる場合にはインフォームド･コンセントが必要である。インフォームド･コンセントに関する承諾が得られた場合には論文中に明記する。

［2024 年 9 月変更］

Presented by Medical*Online